



第8弾

2025年に生き残るための経営セミナー

テーマ

「地域医療構想（ビジョン）策定に 病院はいかに対応するか」

平素より、会務運営にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、病床機能報告制度とともに各医療機能の医療需要を推計する医療資源投入量の検討がなされつつあります。すなわち、国は、医療資源投入量から、高度急性期と急性期の境界点（C1）、急性期と回復期の境界点（C2）、回復期と慢性期・在宅医療等の境界点（C3）を定めることによって医療機能毎における医療需要を推計するガイドラインを作り、都道府県が今後策定する地域医療構想（ビジョン）の基本としようとしています。さらに、地域の実情に応じた慢性期と在宅医療等の需要推計の考え方も提示されています。

病院の2025年に向かっての生き残り戦略を考え、自ら保有する病床の今後のあり方を考える機会として、この仕組みを理解し、検討の一助となるようなセミナーを下記の通り開催いたします。

関係役職員のご参加について、宜しくお願い申し上げます。

記

- 日時 平成27年3月1日（日） 13:00～16:00
- 会場 全日本病院協会 大会議室（※下記会場案内図参照）
東京都千代田区猿樂町 2-8-8 住友不動産猿樂町ビル 7F
TEL：03-5283-7441
- プログラム（予定）

13:00～13:05	開会挨拶：全日本病院協会 役員
13:05～14:00	講演：「地域医療ビジョン策定の意義（仮）」 講師：厚生労働省医政局地域医療計画課 課長 北波 孝（予定）
14:00～14:55	講演：「地域医療ビジョン策定ガイドラインの実際と病院の対応（仮）」 講師：産業医科大学 医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉（予定）
14:55～15:05	（休憩）
15:05～15:55	質疑応答
15:55～16:00	総括

